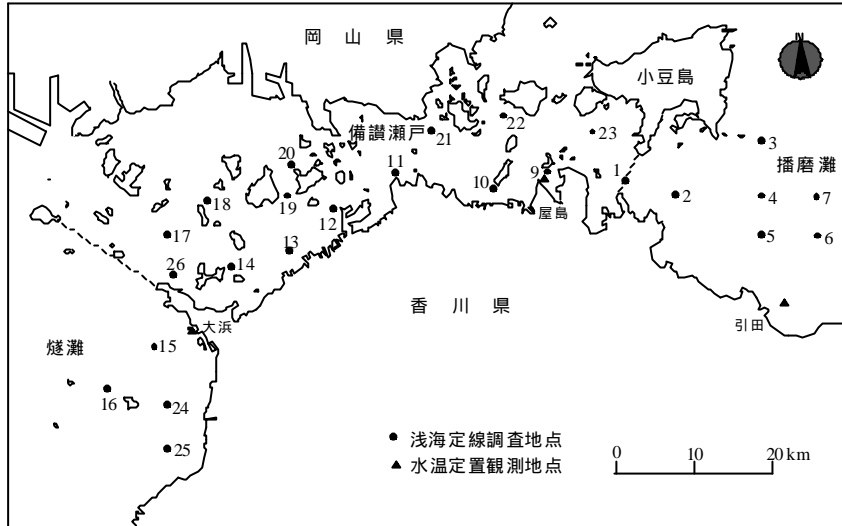


香川県漁海況速報 平成15年6月 (H15- 3号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成15年6月3日(播磨灘) 2日(備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「かなり低めからかなり高め」、塩分は「平年並みからやや高め」、透明度は「やや低めからやや高め」、溶存酸素は「平年並みからかなり高め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	18.0	17.0	15.8	32.4	32.4	32.6	8.3	5.44	5.19
	平年値	18.3	17.1	15.4	32.0	32.1	32.3	10.4	5.43	4.62
	平年偏差	-0.3	-0.1	0.4	0.4	0.3	0.3	-2.1	0.01	0.57
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	平年並み	やや高め
備讃瀬戸	14地点平均値	18.0	17.7	17.6	32.5	32.5	32.5	5.6	5.27	5.27
	平年値	17.9	17.5	17.4	32.2	32.3	32.5	4.7	5.28	5.15
	平年偏差	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3	0.0	0.9	-0.01	0.12
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	18.9	17.0	16.5	32.6	32.9	33.0	11.6	5.89	5.47
	平年値	20.3	16.9	15.2	32.4	32.7	32.8	10.6	5.58	4.48
	平年偏差	-1.4	0.1	1.3	0.2	0.2	0.1	1.0	0.31	0.99
	状況	かなり低め	平年並み	かなり高め	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	かなり高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間 水温及び塩分：昭和47(1972)～平成13(2001)年度

透明度：昭和58(1983)～平成13(2001)年度

溶存酸素：昭和55(1980)～平成9(1997)年度

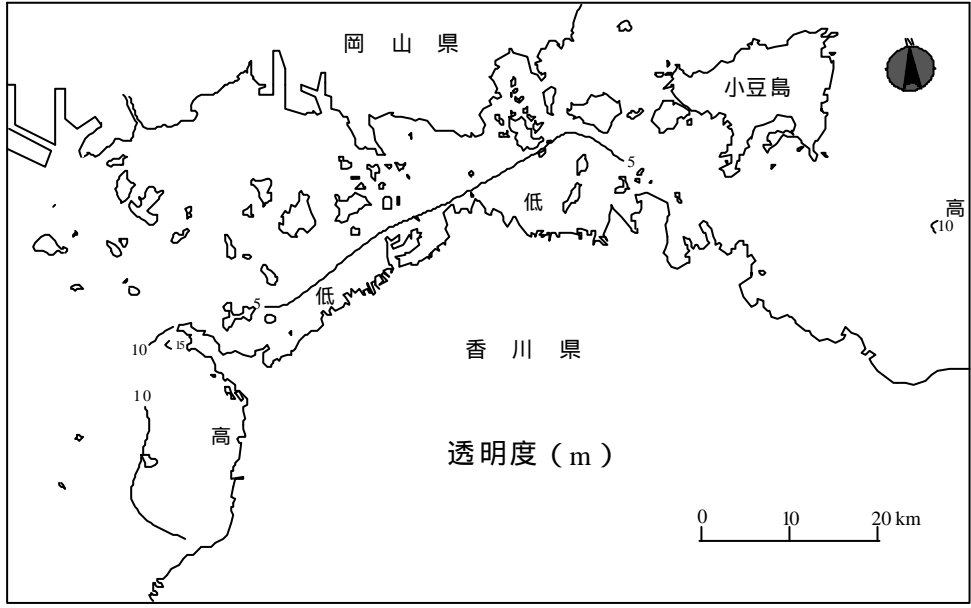
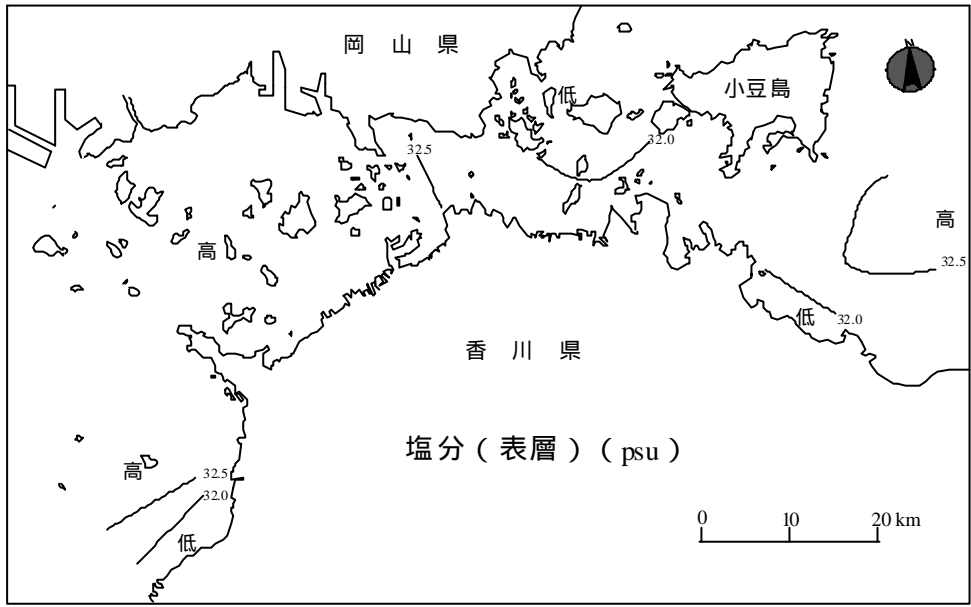
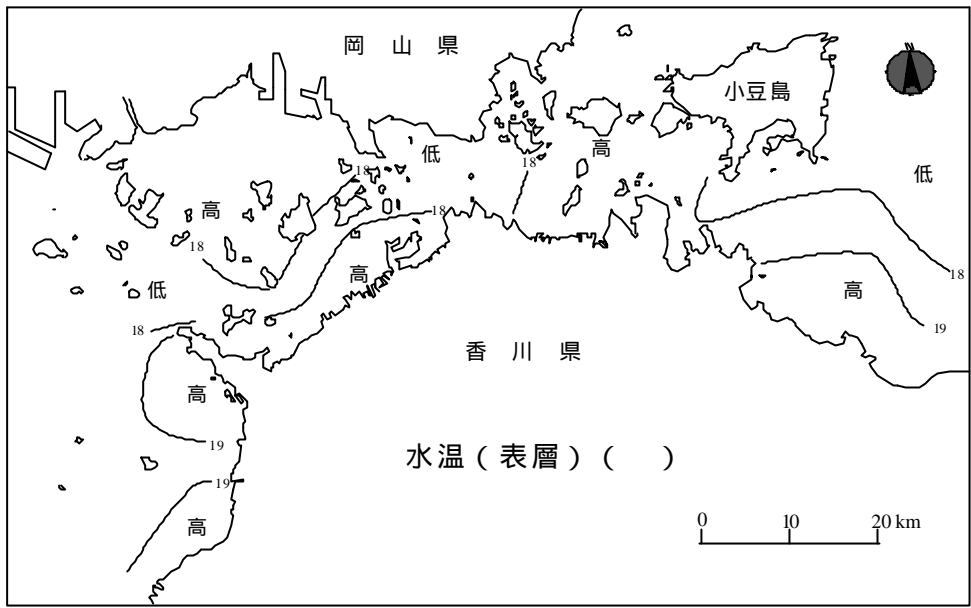
水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み 0 平年偏差 < 0.6 (: 標準偏差)

やや高め(やや低め) 0.6 平年偏差 < 1.3

かなり高め(かなり低め) 1.3 平年偏差 < 2.0

著しく高め(著しく低め) 2.0 平年偏差



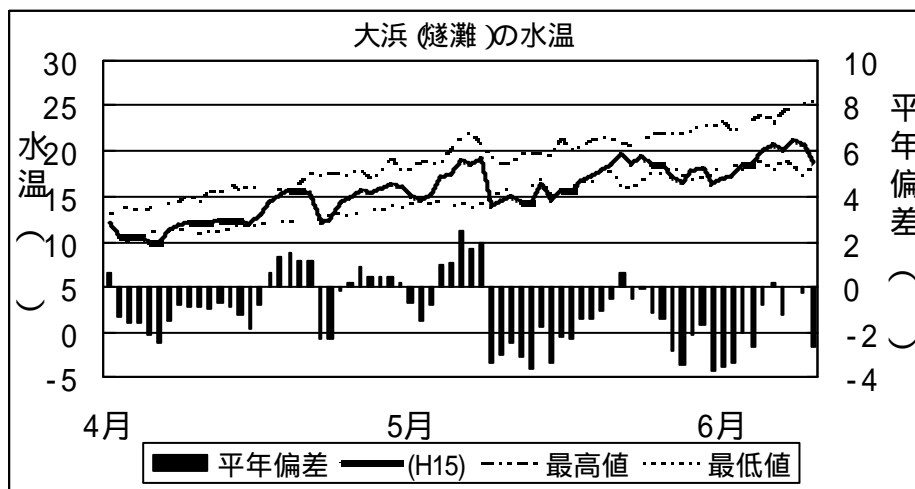
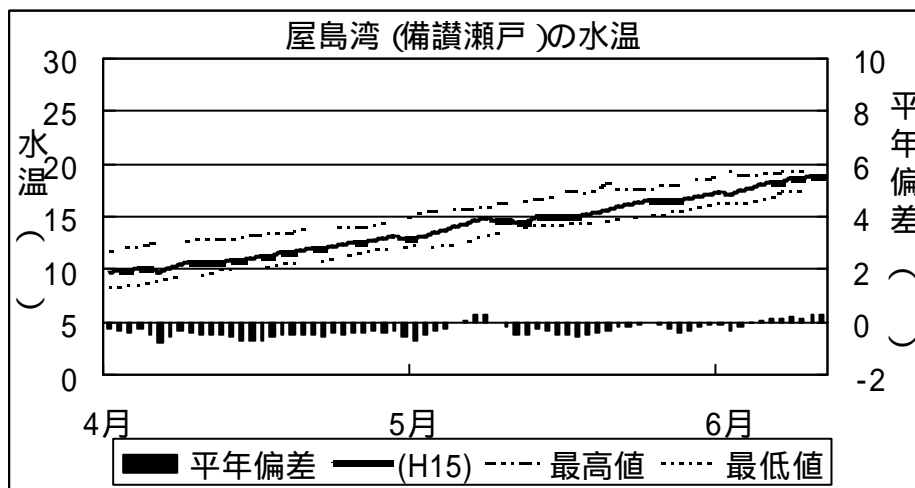
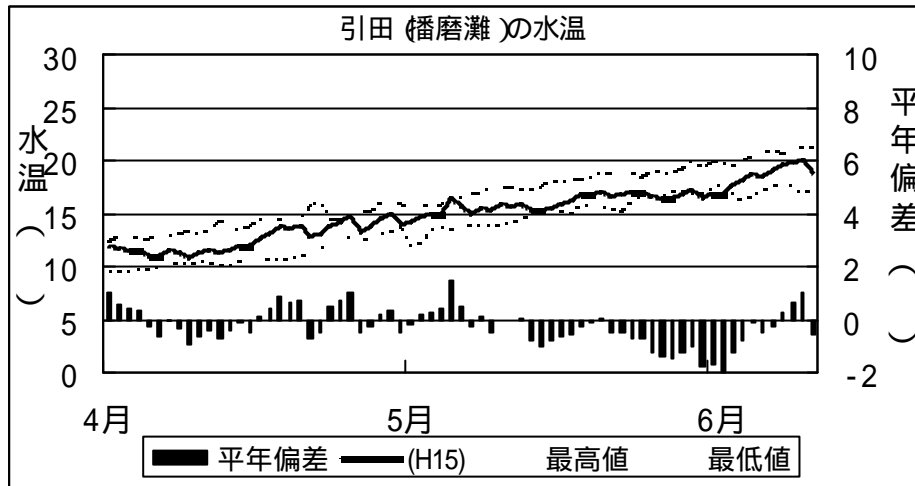
2) 定置観測(水温)

播磨灘(引田): 5月中旬以降、平年偏差が - 1 ~ - 2 で推移していた。6月に入り上昇傾向が大きくなり、平年偏差が 1 まで大きくなった日があった。

備讃瀬戸(屋島): 5月中旬以降平年偏差が - 0.4 前後で推移していたが、6月に入ってからプラスに転じ、0.2 前後で推移している。

燧灘(大浜): 5月中旬以降ほとんどの日が平年値より低く、平年偏差が - 2 前後で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成14(2002)年
屋島: 昭和50(1975)~平成14(2002)年



3) 赤潮

播磨灘：6月中下旬、西部で *Noctiluca scintillans* の赤潮の発生があった。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：発生なし。

4) 卵稚仔

調査日：平成15年6月3日（播磨灘）、2日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	43.88	7.00	0.00	0.00	0.00	0.00	37.75	12.75
備讃瀬戸平均	20.40	0.87	0.00	0.00	0.00	0.00	19.87	8.13
燧灘平均	9.00	2.57	0.00	0.00	0.14	0.00	65.43	3.57
総平均	24.00	2.90	0.00	0.00	0.03	0.00	35.27	8.30

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	184.4%	299.5%	0.0%	0.0%
備讃瀬戸平均	453.8%	27.6%	0.0%	0.0%
燧灘平均	16.6%	24.0%	0.0%	0.0%
総平均	113.2%	61.8%	0.0%	0.0%

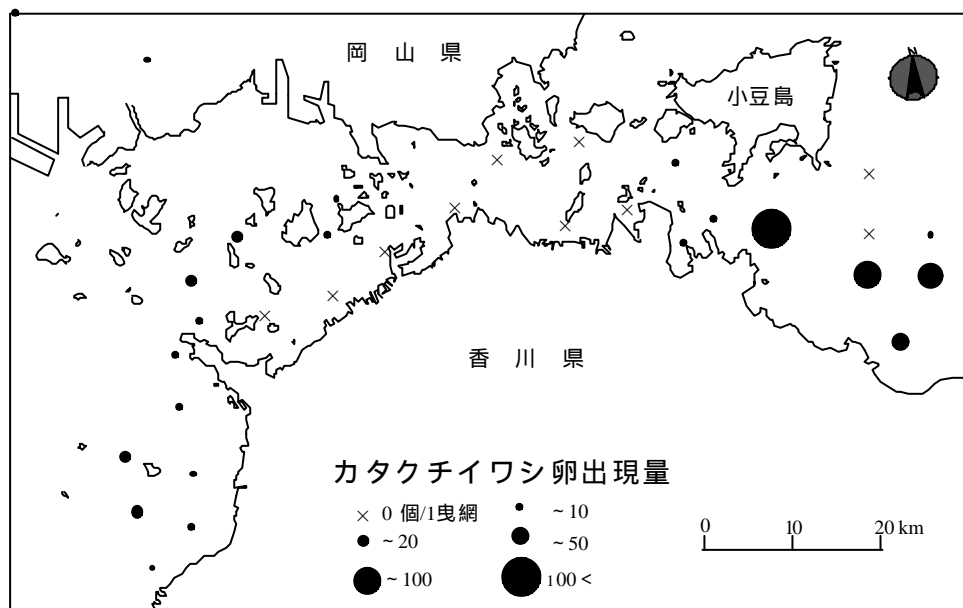
- :平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成14（2002）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成14（2002）年度

各調査点のカタクチイワシ卵の出現量は、次のとおりである。



2. 漁況

5月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>サワラ流し刺網は前年を若干下回る漁獲量で、6月に入って2～5尾日隻程度に減少し、漁期終了も近い。</p> <p>シラスの船曳網は6月1日から漁が始まり、前年同様不漁で、低調なスタートであったが、中旬以降漁獲が上向いてきた。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、マアナゴ、フグ類、テナガダコが漁獲されているが、特に、テナガダコが多い。</p> <p>高松・庵治沖のイカナゴ込網の5月の漁獲量は前年を大きく上回る約2100トンの漁獲量があつて、3月から好漁が続いていたが、6月11日で漁期が終了した。</p>
燧 灘	<p>さより機船船びき網は100gサイズの魚体を主体に100～150kg/日・隻と前年と比較するとかなり獲れているが、魚価が安い。</p> <p>イワシ機船船曳網は前年同様6月12日から大羽漁、前年より1日遅い23日からシラス漁が開始される。</p>